

富山県朝日町

議会だより



第82号

平成26年10月1日



9/7(日) 富山県・朝日町総合防災訓練
【五箇庄地区多目的施設 彩の里】

第4回議会臨時会

■ 朝日町議会組織決定

2～3

第3回議会定例会(6月)

■ 平成26年度補正予算、議員提出議案など

4～5

■ 代表質問 2名

6～8

■ 一般質問 3名

9～11

■ その他の質問

12

■ 常任委員長報告

13

■ 議会日誌 4月～7月

14

《発行編集》

富山県朝日町議会だより編集委員会

〒939-0793

富山県下新川郡朝日町道下1133

☎0765-83-1100(代)

朝日町議会組織決定!!

去る8月10日に行われた朝日町議会議員選挙の結果を受けて、平成26年第4回議会臨時会が8月29日に開催され、議長、副議長の選挙などが行われ、議会組織が次のように決まりました。

また、人事案件が提案され、原案どおり同意されました。



副議長

西岡良則



議長

水野仁士

議長就任あいさつ

議長 水野 仁士

この度、朝日町議会議員選挙後の第4回議会臨時会において、議員各位の推挙により議長の要職を拝命いたしました。

身に余る栄誉であるとともに、その重責に震える思いであります。

さて、政府の進めるアベノミクスによる経済効果も、地方では感じられない状況ではありますが、来春3月14日と、待ち望んでおりました北陸新幹線の開業日も決まり、ムードは高まってきております。

当町におきましても、今月にはヒスイ海岸パークゴルフ場の増設部分が、11月には新図書館がオープンいたします。

しかし、新消防署庁舎の建設や、旧下沢産業跡地の問題など、町が抱える課題は多くありますが、議会といたしましては、町民の皆様の声を町政に反映させることはもとより、町当局とは車の両輪として町政発展に誠心誠意努力してまいる所存であります。

今後とも町民の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

総務産業常任委員会

◎西岡 良則 ○大井 光男

水野 仁士 荒尾 勇二

清水 真人

(◎委員長 ○副委員長)



清水委員



荒尾委員



水野委員



大井副委員長



西岡委員長

議会で決まったこと



小川委員



加藤委員



大森委員



道用副委員長



長崎委員長

民生教育常任委員会
 ◎長崎 智子 ○道用 昭雄
 大森 憲平 加藤 好進
 小川 慶二
 (◎委員長 ○副委員長)



水野議長



清水委員



大井委員



加藤副委員長



大森委員長

議会運営委員会
 ◎大森 憲平 ○加藤 好進
 大井 光男 清水 真人
 水野 仁士 (オブザーバー)
 (◎委員長 ○副委員長)

日本海関東首都圏連絡道路構想 対策特別委員会

◎水野 仁士 ○西岡 良則
 大森 憲平 長崎 智子
 加藤 好進 大井 光男
 小川 慶二 道用 昭雄
 荒尾 勇二 清水 真人

並行在来線等対策特別委員会

◎水野 仁士 ○西岡 良則
 大森 憲平 長崎 智子
 加藤 好進 大井 光男
 小川 慶二 道用 昭雄
 荒尾 勇二 清水 真人

災害対策等特別委員会

◎水野 仁士 ○西岡 良則
 大森 憲平 長崎 智子
 加藤 好進 大井 光男
 小川 慶二 道用 昭雄
 荒尾 勇二 清水 真人

新川広域圏事務組合議会議員

水野 仁士 西岡 良則

新川地域介護保険組合議会議員

水野 仁士 加藤 好進

富山県後期高齢者医療広域連合 議会議員

笹原 靖直 (町長)

新川地域消防組合議会議員

水野 仁士 大井 光男

人事案件

●朝日町監査委員を選任するため
同意を求める件

朝日町宮崎1234番地

加藤好進氏(61歳)の選任に
同意

お知らせ

朝日町議会議員の会派

●志政会(4名)

【代表】大森 憲平
 大森 憲平 水野 仁士
 大井 光男 小川 慶二

●グループ22(2名)

【代表】加藤 好進
 加藤 好進 西岡 良則

●一歩会(2名)

【代表】清水 真人
 清水 真人 道用 昭雄

26年度補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計（補正第1号）	補正総額	118万円
図書館整備費		118万円
一般会計（補正第2号）	補正総額	1億1,544万円
OA化推進費		5,720万円
子育て支援事業		54万円
簡易水道特別会計繰出金		109万円
漁港建設事業		150万円
企業立地奨励事業		1,000万円
防災対策強化・推進事業		4,460万円
一般会計（補正第3号）	補正総額	2,874万円
図書館整備費		2,845万円

25年度専決補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計（補正第7号）	補正総額	9,318万円
小学校跡地施設整備事業		△287万円
五差路周辺施設整備事業		△328万円
障害者福祉費		△485万円
後期高齢者医療事業		△791万円
要援護高齢者対策費		△743万円
保育所運営費		△1,215万円
感染症予防費		△402万円
重度心身障害者等医療費		△730万円
環境衛生事業		△339万円
職業安定対策費		△524万円
広域農免農道整備事業		△565万円
県単独林業基盤整備事業		△607万円
商工業振興事業		△386万円
道路橋梁新設改良事業		△337万円
パークゴルフ場管理運営費		△342万円
施設管理運営費		△346万円
財政調整基金		1億円
減債基金		1億円
予備費		1,215万円
特別会計	補正総額	△5,557万円
国民健康保険会計		△4,058万円
後期高齢者医療会計		△182万円
簡易水道会計		△70万円
下水道会計		△1,247万円

**平成26年度補正予算、平成25年度専決
補正予算、議員提出議案、人事案件など
26議案を可決・承認等**

平成26年第3回議会定例会は、6月25日から7月11日までの17日間にわたり開催され、26年度補正予算や25年度専決補正予算、人事案件などが審議され、原案のとおり可決・承認等されました。
また、議員提出議案が3件提出され、可決されました。

第 3 回 定 例 会 審 議 結 果

※議決日は7月11日（議案第32号及び議案第35号から第38号までは6月25日）

議案番号など	件 名	審議結果
議案第32号	平成26年度朝日町一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第33号	平成26年度朝日町一般会計補正予算（第2号）	〃
議案第34号	平成26年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第1号）	〃
議案第35号	五差路周辺複合施設整備事業 建築主体・外構工事請負契約締結に関する件	〃
議案第36号	五差路周辺複合施設整備事業 機械設備工事請負契約締結に関する件	〃
議案第37号	五差路周辺複合施設整備事業 電気設備工事請負契約締結に関する件	〃
議案第38号	防災・安全社会資本整備交付金事業 除雪ドーザ13t級購入契約締結に関する件	〃
議案第39号	地方自治法第179条による専決処分 の件 専決第7号 平成25年度朝日町一般会計補正予算（第7号）	原案承認
議案第40号	地方自治法第179条による専決処分 の件 専決第8号 平成25年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第41号	地方自治法第179条による専決処分 の件 専決第9号 平成25年度朝日町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	〃
議案第42号	地方自治法第179条による専決処分 の件 専決第10号 平成25年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第4号）	〃
議案第43号	地方自治法第179条による専決処分 の件 専決第11号 平成25年度朝日町下水道特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第44号	地方自治法第179条による専決処分 の件 専決第12号 朝日町税条例一部改正の件	〃
議案第45号	地方自治法第179条による専決処分 の件 専決第13号 朝日町国民健康保険税条例一部改正の件	〃
議案第46号	地方自治法第179条による専決処分 の件 専決第14号 朝日町長の退職手当の額の算定に用いる給料月額の特例に関する条例制定の件	〃
議案第47号	平成26年度朝日町一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第48号	図書館及び明治記念館整備事業建築主体工事請負契約変更に関する件	〃
議案第49号	図書館及び明治記念館整備事業機械設備工事請負契約変更に関する件	〃
議案第50号	図書館及び明治記念館整備事業電気設備工事請負契約変更に関する件	〃
議案第51号	朝日町副町長を選任するため同意を求める件	原案同意
議案第52号	朝日町監査委員を選任するため同意を求める件	〃
選挙第1号	新川地域消防組合議会議員選挙の件	指名推選
推薦第1号	朝日町農業委員会の委員推薦の件	〃
議員提出議案第4号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	原案可決
議員提出議案第5号	集団的自衛権行使を閣議決定のみで容認したことに抗議する意見書	〃
議員提出議案第6号	富山県立泊高等学校の存続に関する決議	〃

議会を傍聴してみませんか！

定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。日程については、議会事務局に問い合わせください。
ホームページでもご覧になれます。<http://www.town.asahi.toyama.jp/>

新町長の政策と方針について

答「町民参加の、町民が主役となるまちづくり」を実践していきたい



西岡良則（グループ22）

質問

笹原新町長は、町政の運営に当たっては、すばらしい自然とふるさと、夢と希望が持てるまちづくりを目指し、高齢者福祉の充実、健康で生活することへの環境づくり、富山県下一の子育て支援、若者の定住対策など10項目にわたる政策と方針を掲げているが、朝日町を再生し、夢と希望が持てるまちづくりの政策実現に向けての具体的な方策と考えを伺いたい。

答 町長

今回の選挙戦で、多くの町民の声をお聞きすることができ、地域のさまざまな課題、少子高齢化対策として高齢者福祉、子育て支援、また定住対策、観光・活性化対策など、多岐にわたる分野に要望、意見があり、それに応えることが朝日町の発展に

つながるということを実感したところである。

このことから、町政を身近に感じていただくため、私みずからが地域に出かけて意見を直接お聞きするミニ集会的なタウンミーティングを10月から通年開催したいと考えている。

町民の意見が行政に活かされるまちづくりの基本とも言える「町民参加の、そして町民が主役となるまちづくり」を実践していきたいと考えている。

新総合計画の策定に当たり、町が抱える諸課題の解決に向け、幅広く議論する場として、有識者、各種団体、議員に加え、まちづくりに参加したいという町民を公募した上で、朝日町再生会議を今年度中に立ち上げたいと考えている。

その他の政策と方針について、

1点目は、高齢者福祉の充実についてであり、県内で最も高齢化率が高い当町においては、高齢者が生涯現役でいきいきと健康に暮らせる環境づくりを展開していく。介護職員の養成・確保をはじめ、まちバスなどの公共交通等の充実や買い物支援など、高齢福祉施策の推進に努めていく。

2点目は、富山県下一の子育て支援施策の推進であり、県下一の子育てしやすい自治体を目指し、保育料の第2子半額、第3子以降の無料化を進めるとともに、中学生までの医療費完全無料化、病児・病後児保育、休日保育など保育環境の整備を図り、さらには教育環境の整備や食育の推進などに

も努めていく。

3点目は、若者の定住対策についてであり、若者の流出を食い止めるため、地元企業の育成支援、企業誘致をはじめ、求めやすい宅地やアパート、住宅整備などに努めていく。

4点目は、農林水産及び観光資源の活用による雇用拡大であり、ヒスイ海岸や舟川の桜並木など魅力ある観光資源を活用・整備し、ふるさと納税の活用による地産地消の推進につなげていく。



ひまわり幼稚園



ヒスイ海岸

5点目は、あさひ総合病院の医師・看護師の確保についてであり自治体のトップとして、医師の派遣元の大学病院や県及び関係機関に対して、その確保を粘り強く要

代表質問

請していく。

6点目は、富山県立泊高等学校の存続についてであり、当町にある唯一の高等学校は、何が何でも存続させなければならぬ。町と住民が一丸となり、自治体のトップとして県関係部局へ働きかけなど、存続に向けて全力をもって取り組んでいく。

7点目は、新幹線開業に向けた取り組みについてであり、来年度の開業に向け、地域活性化と交流人口の拡大を図るため、町の観光資源を活かした滞在型観光の推進、隣接市町村との連携の強化による当町のPRを図り、また、経営が分離される並行在来線の利便性の確保にも努めていく。

8点目は、安心・安全なまちづくりについてである。

町民の生命と財産を守ることは私の使命でもあり、さきの東日本大震災を契機として住民の防災・減災対策の気運が高まっている中で、一層の防災意識の啓発を進め、安全・安心なまちづくりを進



北陸新幹線W7系（試験走行）

めていく。そのためにも消防署庁舎の整備については、複数の候補地を挙げて検討していく。

再質問 喫緊の課題が山積しており、町長として何からまず始めたいと思っているか。

再答弁 町長 27年度から県下一の子育て支援を目指すということで、保育料の軽減、あるいは中学校までの医療費の完全無料化等、子育て支援として、少なくとも27年度、4月からできるものから取り組んでいきたい。

病院経営の実態と

今後の経営方針は

答 純利益は2年連続黒字
経営改善検討委員会の提言を
尊重し、着実に取り組む



稲村 功（日本共産党）

質問 あさひ総合病院の実態と今後の経営についてどのように考えているか。

答弁 あさひ総合病院事務部長
自治体病院の経営・運営については、合理的かつ効率的な病院経営に努め、健全で自立した経営基盤を確立することが求められている。また、地域医療を守る最後のとりでとの位置づけのもと、住民の生命と健康を守る身近な病院としての使命を果たすこともあわせて求められている。

病院経営の実態については、平成25年度は常勤医師が12名と、平成24年度と比較すると1名減となり、この影響を受け、入院患者数については3万8,786人で、前年度と比較すると1,902人の減、外来患者数については

11万9,459人、前年度比較で514人の減となった。
また、決算見込みについては、純利益が約620万円であり、前年度には及ばないものの、2年連続の黒字決算となる状況である。



あさひ総合病院

今後の経営方針については、昨年度に開催したあさひ総合病院経営改善検討委員会からの提言書の内容を尊重し、着実に取り組んでいく。

また、今年度はNPO法人病院経営支援機構と診療報酬の収入確保策に加え、経費節減や業務委託の内容の精査も進めており、これから収入確保と経費節減の両面からの取り組みを強化することで一層の経営改善に努めたいと考えている。

医師・看護師確保の方策は

答 処遇改善を踏まえ、関係機関を訪問し要請、PRしていく

質問 医師・看護師の確保についての具体的な方策をお聞きたい。

答弁 あさひ総合病院事務部長

病院経営に直結する医師・看護師の確保は喫緊の課題であるが、都市部への偏在化や少子化の影響等を受け、その確保は依然として厳しい状況が続いている。

まず、医師の確保については、医師の派遣元である富山大学医学部の各医局への継続的な訪問や自治医科大学医師の派遣先を決める

富山県に対しても粘り強く派遣要請の活動を積極的に行うこととしている。

また、今年度から毎月1週間、富山大学より地域医療実習生を当院で受け入れている。実習生には1週間という短い期間ではあるが、医療のみならず、町内の介護

施設での実習を経験していただき、朝日町の風土や地域住民の人の柄に触れてもらえるような研修プログラムを組んでいる。

このように富山大学との連携を深め、このパイプを少しずつ太くしながら医師確保につながるよう努めたいと考えている。

次に、看護師の

確保については、平成26年4月当初の看護師の新規採用職員は5名と、募集人数には及ばないものの、近年では比較的多い採用人数となった。

また、平成26年3月議会定例会において、採用の確保が困難な状況にある医師、看護師、薬剤師などの医療職員を対象に初任給調整手当の支給を含めた処遇改善を図るため所要の条例改正を行ったところである。

それを踏まえて、今後とも看護師養成機関への訪問や

就職ガイダンスなど、あらゆる機会を通じて積極的なPR活動を行い、その確保につなげたいと考えている。

再質問

一生懸命努力されているこの経営方針をしっかりと堅持して、その上に立って病院経営をやっていただきたいと思うが町長の考えを伺いたい。

再答弁

町長

検討委員会につ

いては、私自身が2年半前から早急に立ち上げていただくように提言をしてきた案件であり、その案件の中で出たとおり、今年度からは初任給等々手当等いろんな形の中で織り込んでいく段階である。もちろん、それを一歩前に進めていきたいと思っている。

こういった形が有効な手段として大学病院との連携強化を図れるか話をしているところであり、院長とともにまた大学病院へ行くことも指示している。積極的に大学病院の信頼回復、連携強化ということは当然やっていかねばならないことである。

事務局の強化も視野に入れながら検討をしているところであり、積極的な活動に取り組みさせていただけだと思っている。



あさひ総合病院の看護師の勤務の様子

一般質問

移動販売車の他地域への販売も考えているのか

答 車両運行や作業体制を考慮しながら、新たな展開を



大 森 憲 平

質問 6月末までの売上状況と利用者数はどれぐらいか。また今後、他の地域への移動販売も視野に入れて考えているのか。

答弁 商工観光課長 公益社団法人朝日町シルバー人材センター

が主体となって実施している買い物支援対策事業は、平成25年11月に緊急雇用創出特別基金を活用し、笹川地区でスタートした事業である。本年4月からは大平・境地区も新たに加えて行っており、町では、昨年に引き続き移動販売車を貸し出し、バックアップをしているところである。

売上状況と利用者数は4月から6月末までで42万1,942円を売り上げ、延べ476人の利用状況となっており、1日当たりになると約1万7,600円、約20人

の利用状況となっている。

今後の販売地区の拡大については、車両の運行や作業体制を考慮しながら、対象となり得る地区や施設に直接交渉を行うなど、事業の新たな展開に取り組んでおられるところである。

補助が無くなったときの考えは

答 買い物支援策として支援すべき方向性を探る

質問

3年後に補助事業が無くなると伺っているが、そのときに事業をどのようにされるのか。

答弁 商工観光課長 地域ニーズ対応補助金は、補助対象期間を新規事業の立ち上げ期間に限定していることから、平成26年度から

28年度までの最大3年間と定められており、その後は自主財源での運営を求められることになる。今後3年間で地域、あるいは町の買い物支援策として支援すべき方向性を探る必要があると考えている。



移動販売車による販売の様子

まちバスの利用者の状況は

答 全ての路線で利用者数は増加

質問

1日どのくらいの人が乗車されているのか、また、時間帯で乗車状況はどのように変わっているのか、前の公共バスと変わったところは何か。



まちバス

路線においても利用者数は増加している状況である。

答弁 商工観光課長 1日当たりの利用者数については、4月が91・1人、5月が95・2人、6月が97・1人と徐々に増えてきているところである。

また、時間帯別の利用者数は、朝8時までの通勤通学時間帯が18%、通院や買い物による利用が多い日中の午前中が45%、午後が23・9%、帰りの通勤通学時間帯の夕方5時から夜9時台が9・5%、飲食店等からの帰りの利用が増える夜9時以降が3・6%となっている。

曜日を限定して運行していた公共バス路線を、まちバスで毎日運行にしたことで、ことしの1月から3月までと4月から6月までの各3カ月間を比較した場合、全ての路線で利用者数は増加しており、1日当たりの便数を増やした

企業誘致に向けての トップセールスの考えは



加藤 好進

答 サポート体制をアピールしながら
誘致活動を展開していく

質問 全国の自治体のほぼ8割が企業誘致に取り組んでいる。目的の多くは、雇用機会の確保や税収の確保の期待である。企業説明会への参加や東京・関西朝日会の人脈を通しての積極的なトップセールスの考えを伺う。

答 町長 これまで当町は企業誘致の分野において、あまり進展がなかったと認識している。このため、企業誘致は、人口減少問題対策も含めた雇用機会の確保や町財源としての税収の確保など、地域経済の活性化と活力あるまちづくりには欠くことのできない施策であるとの認識から、近年は積極的な働きかけを進めてきている。企業誘致はすぐに成果につながるものではなく、難しい面もあるが、積極的なトップセールスが何

より重要であり、昨年度制度を拡充した朝日町企業立地奨励事業補助金をはじめとしたサポート体制をアピールしながら、各方面で朝日町のよさをPRした誘致活動を展開していくことが必要と考えている。



とやま企業立地セミナー（大阪市）

人口減少と対策の取り組みは

答 子育て支援、
若者定住対策を進める

質問 先般、日本の将来人口推計が発表され、県内15市町村のうち、氷見市、小矢部市、南砺市、上市町、朝日町の5市町が消滅可能性都市になると発表された。この深刻な人口減少にどのように取り組んでいくのか伺う。

答 企画政策室長 有識者らでつくる日本創成会議・人口減少問題検討分科会は、地方から大都市への人口流出が現在のペースで続けば、30年間で20代から30代までの女性が半分以下に減るという消滅可能性都市は、全国の全自治体の半数に当たる896市区町村に上り、このうちの523自治体が2040年に人口が1万人以下となり、「消滅の可能性が極めて高い」との試算を発表した。

当町においても、少子高齢化や人口減少は、地域の活性化やまちづくりに重大な影響を及ぼす問題であることは十分に認識をしております、こうした状況を打開できるようなさまざまな施策を行っているところである。

子育て支援・少子化対策として、今年度新たに保育料の引き下げや休日保育をスタートしたところであり、今後新たに、町長が公約にも掲げている保育料の第2子半額、第3子以降の無料化や中学生までの医療費の完全無料化、また病児・病後児保育などの保育環境の整備、教育環境の整備と食育の推進といった施策を検討し、町長が公約に掲げている「富山県下一の子育て支援のまち」の実現に向け、積極的に取り組んでいきたい。

また、地元企業の育成や企業誘致、住宅の供給など住まいの環境整備を進め、就業支援、雇用機会の拡大からつながる若者の定住対策についても力を入れたい。



延長保育の様子（ひまわり幼稚園）

県立泊高校の存続を

どのように訴えるのか



蓬 澤 博

答 町長自らが関係者、関係機関に交渉を行う

質問 県立泊高等学校の存続についてどのような方策で富山県に訴えていくのか。また、朝日町自治振興会連絡協議会から「県立泊高等学校の存続を求める要望書」が当局に提出されているが、どのように活動するのか。

答弁 企画政策室長 県立高校の後期の再編については、昨年度、前期再編の成果や課題を検証する「県立高校再編（前期計画）の評価と今後の課題に関する検討委員会」が開催され、後期再編を見据えた議論がなされてきたところである。

今年度新たに「県立学校整備のあり方等に関する検討委員会」が設置され、学校の望ましい規模、職業科など各学科の構成と配置、時代のニーズに即した教育充実の

方策などをまとめると聞いている。

後期再編では統合対象校が自治体をまたぐ可能性があるとして、地域や同窓会の理解を得る難しさも想定されるため、議論が必要との考えが示されている。

泊高等学校の存続については、朝日町のトップである町長としての政治的判断も含め、普通科、職業科などの設置の検討も必要であるが、まず高校の存続については町長みずから積極的に関係者、関係機関に直接出向き、交渉を行うこととしている。なお、自治振興会からの要望については、町民の皆さんの切実な声であり、7月22日に県知事への重要要望活動において「泊高等学校の存続に係る町民の願い」という形で知事に直接伝えてまいりたいと考えている。

泊駅舎の利活用方法は

答 効果的な利活用策を検討したい

質問 泊駅舎をどのように利活用するのか。

答弁 商工観光課長 5月15日

に、あいの風とやま鉄道から来庁され、今後の動向や町の意向について協議を行ったところである。

内容は、運行ダイヤや開業イベ



泊駅舎

ントの実施の有無など多岐にわたったが、泊駅舎の利活用については、駅西側の駐車場整備、トイレを含む駅舎の改修、駅舎内の旧みどりの窓口スペースの貸し付け、コンビニ導入の進捗状況などが課題に上がり、提供される貸し付けスペースでの観光案内所等の設置を考えていることや、あいの風とやま鉄道が主導する売店の設置が進まない場合は、町独自で設置したい旨の意向を伝えたところである。

県では、駅舎の利活用を通してあいの風とやま鉄道の利用促進を支援する目的から、「あいの風とやま鉄道」駅舎活用費補助金を創設している。この補助金の活用を視野に入れながら、泊駅舎について効果的な利活用策を検討したいと考えており、この補助事業の支援期間が平成26年度、27年度の2カ年であることから、その期間の延長や補助限度額の引き上げ等、補助制度を拡充するよう要望しているところである。

本文に掲載した記事以外の質問

◆西岡良則 議員

- 町政の運営について
 - ・副町長の選任について
 - ・職員の町民対応と接遇教育について
- 生涯学習の拠点づくりについて
 - ・新図書館と明治記念館の建設工事の進捗状況と管理運営について

◆稲村 功 議員

- 公約の実現策について
 - ・保育料の軽減について
 - ・高齢者対策について
 - ・人口減少対策について
- 自民党推薦首長としての町政運営について
 - ・農業政策について、自民党の政策を推し進められるのか
 - ・朝日町の諸課題解決について、どのように取り組むのか
 - ・「憲法第9条」について、町長の考えを伺う
 - ・集団的自衛権についてどのように認識しているのか

◆大森憲平 議員

- まちバスの運行状況について
 - ・コースの見直し等は考えているのか
 - ・年間の経費と、その見直しについて

◆加藤好進 議員

- 福祉について
 - ・子育て支援について
 - ・介護サービスについて

◆蓬澤 博 議員

- 県立泊高校の存続について
 - ・朝日町自治振興会連絡協議会から出ている要望書をどのように活用し発展させるのか
- 泊駅舎について
 - ・そのためのアクションはどうするのか。現在、どのような進捗状況なのか



議会用語の解説

『質疑・代表・一般質問』

質疑は議題となった案件に対し、その内容を明確にするため、議案提出者に疑義を質するものですが、自分の意見をいうことはできません。

そこで自分の考えや意見を述べながら、執行機関に対し事務事業の執行状況や将来の方針等について説明や報告を求めたり、行政執行を批判すること、これが代表・一般質問の性格であり、議会のもつ本来の監視作用の一つとして十二分に発揮されることが求められるものです。

『常任委員会・特別委員会』

当議会では条例で総務産業、民生教育の二つの常任委員会が設置されています。各常任委員会には定数が決まっており、議員は必ず一つの常任委員会に入ることになっています。各常任委員会では、担当する課の所管事項について審査を行います。

これに対し、特別委員会は、必要なときに議会の議決で置くことができ、全員が必ず入るものではありません。現在は、日本海関東首都圏連絡道路構想対策特別委員会、並行在来線等対策特別委員会、災害対策等特別委員会の三つの特別委員会が置かれています。

また、特別委員会は、常任委員会と違って所管する課はなく、一つの事業や事項に対してのみ審査を行う委員会です。

常任委員長報告

常任委員長報告

総務産業委員会

当委員会は、7月7日及び8日の両日、午前10時から開催し、議会从付託されました全案件を慎重審査いたしました結果、それぞれ原案のとおり可決・承認すべきものと決しました。

また、今期定例会において、議会从付託されました新規の請願2件のうち、「県立泊高等学校の存続を求める請願書」については、願意妥当と認め、採択すべきものと決しました。

なお、新規の請願「憲法解釈を変えて集团的自衛権行使を容認することに反対する意見書採択を求める請願」並びに、3月定例会より継続審査となっておりました請願2件、「天望閣の土地・建物の有効活用を求める請願書」及び、「憲法改正の早期実現を求める請願」については継続審査と決しました。

民生教育委員会

当委員会は、7月8日及び9日の両日、午前10時から開催し、議会从付託されました全案件を慎重審査いたしました結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、今期定例会において、議会从付託されました新規の請願2件、「県立泊高等学校の存続を求める請願書」及び、「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書採択についての請願」については、願意妥当と認め、採択すべきものと決しました。

なお、前回から継続審査となっておりました陳情1件、「要支援者への予防給付（訪問介護・通所介護）を介護給付として継続することについての意見書提出に関する陳情書」については、継続審査と決しました。



両常任委員会で存続を求める請願が採択された県立泊高等学校

議会日誌

四月

16日 東部議会議長協議会総会
並行在来線等対策特別委員
会
25日 議会だより編集委員会
議員協議会

五月

15日 町村議会議長協議会
27～28日 全国町村議会議長・副議長
研修会（東京）

六月

4日 町村議会議長会臨時総会
（富山市）
5日 朝日町・白馬村議会議員連
絡協議会（白馬村）
16日 議会運営委員会
議員協議会
20日 議会運営委員会
25日 第3回議会定例会本会議
（提案理由説明・細部説
明・質疑）
27日 議会運営委員会

七月

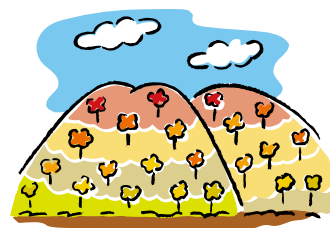
3日 本会議（代表・一般質問）
4日 本会議（一般質問）
議員協議会
7日 総務産業常任委員会
8日 総務産業常任委員会
民生教育常任委員会
民生教育常任委員会
9日 議会運営委員会・
本会議（委員長報告・討
論・採決）
11日



朝日町・白馬村議会議員連絡協議会（6/5 白馬村）

議長交際費を公開します

項 目	H26.4.1～6.30		H26年度累計	
	件数	支出金額(円)	件数	支出金額(円)
祝儀・寸志	5	59,600	5	59,600
香典・生花・見舞	3	30,000	3	30,000
土産・贈答				
負担金・会費	6	48,000	6	48,000
懇 談 会				
饞別・激励・協賛金	1	10,000	1	10,000
そ の 他				
合 計	15	147,600	15	147,600



編集 後記



本来なら8月1日に発行する
予定の本号については、議員選
挙や事務局の事情により2カ月
遅れの発行となりました。

議員選挙後の議長を始め各種
役員を決める臨時議会（組織議
会）が、8月29日に開催された
こともあり、その臨時議会の結
果も掲載すべく、この10月1日
発行とさせていただきます。

8月29日から10名の新たな議
員により新議会がスタートいた
しました。

我々10名は町民の声をよく聞
き、皆さんの負託にこたえられ
るよう精一杯頑張りますので、
応援をよろしくお願いいたしま
す。

なお、次回の議会だよりにつ
きましては、2カ月後の12月1
日の発行を予定しております。

◇議会だより編集委員

西岡 良則 水野 仁士
長崎 智子 荒尾 勇二
清水 眞人